



2018年度都市住宅学会関西支部 通常総会・記念フォーラム

日時：2018年4月21日（土）

会場：ナレッジキャピタル・カンファレンスルームC04
（グランフロント大阪 北館 タワーC 8階）

■通常総会 13：00～13：45（受付12：45～）

■記念フォーラム 14：00～16：45（受付13：45～）

人口減少期の居住地ブランディング

立地適正化計画の策定が多く自治体で進められているが、居住誘導区域の設定については多くの課題を抱えている。都市圏の人口が減少するとともに住宅地間の格差が顕在化し、存続のための競争が始まるとまでは言わないまでも、居住者と不動産業者の双方が、自ら関与する居住地の不動産価値の維持や向上に関心を持つ。

すでにいくつかの電鉄会社では、沿線価値の向上を目指す新たな部署を設立したり、沿線居住者向けの多様な生活支援ビジネスを展開したりしている。

人口が増加する過程では、良好なブランド力を持つ住宅地の隣接部ではその地名を冠したネーミングがなされ、既存イメージに寄生し拡大する方向で居住地ブランディングが進行することがあった。居住地の収縮やスポンジ状の空地化が進む時、居住地のブランドはどのように維持あるいは変化するのだろうか。人気住宅地の範囲や評価構造も縮退とともに変化するのだろうか。有名住宅地に寄生するネーミングの傾向は今後も変わらないのだろうか。また居住地のイメージ戦略というのは、都心の商業空間等のそれとどこが同じで何が異なるのだろうか。

本フォーラムでは、このような問題意識のもとで、都市圏の人口減少課程における居住地のイメージあるいはブランド力の変化の仕組みを探ってみたい。

第一部 基調講演

「本当に住んで幸せなまちーまちの魅力を測る新しい物差し」

島原 万丈（LIFULL HOME'S総研 所長）

第二部 パネルディスカッション

パネリスト 島原 万丈（前掲）

矢嶋 悟（オリックス株式会社）

コーディネータ 岡 絵理子（関西大学）

◆ 参加費 会員・学生500円、会員外1,000円

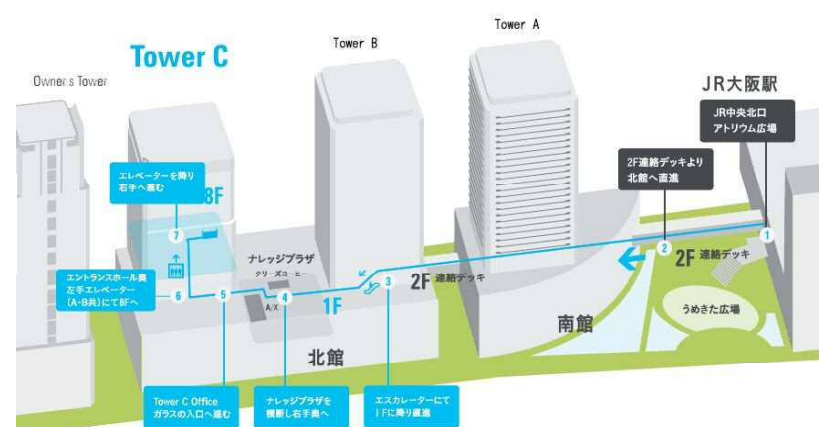
■懇親会 17：10～ 会場：世界のビール博物館
（グランフロント大阪ショップ&レストラン 北館 B1）
会費：5,000円程度

■事前申し込み：事前申し込み必要。下記「問い合わせ先」のE-mailにご連絡をお願いいたします。

■委任状の連絡：総会に欠席される場合、必ず、下記「問い合わせ先」のE-mail（もしくはFAX）に委任状のご連絡をお願いいたします。

■問い合わせ先：都市住宅学会関西支部事務局
TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329
E-mail gakkai-west@urban-ii.or.jp

澤田 充（株式会社ケイオス）
角野 幸博（関西学院大学）



グランフロント北館タワーC
JR「大阪駅」（アトリウム広場）…徒歩3分